

---

## 実務担当者会議報告

---

# 平成 18 年度カルチャーコレクション実務担当者会議 — 「文書管理について」 — 報告

日本微生物資源学会

実務担当者会議・世話人代表

高島昌子

(独立行政法人理化学研究所 バイオリソースセンター 微生物材料開発室)

平成 18 年度の実務担当者会議は第 13 回日本微生物資源学会大会期間中の平成 18 年 6 月 19 日 13 時より 14 時 30 分まで、独立行政法人理化学研究所統合支援施設大会議室において開催された。出席した実務担当者は 16 機関で、オブザーバーを含めると約 50 名が参加した。

今回のテーマは「文書管理について」を取り上げた。微生物系統保存機関では、微生物の「寄託」「チェック」「その株に関わる各種データ」「保存」もしくは「提供」等様々な局面において文書の管理が行われている。文書管理は OECD-BRC 認定制度にも関わっており、その重要性はますます大きくなると思われる。会議では話題提供として、文書管理およびこれに関わるデータ管理を中心に、以下の 3 つの機関からそれぞれで実施されている文書の管理について紹介があった。話題提供者と演題は以下の通りである。

山岡正和 (独立行政法人産業技術総合研究所 特許生物寄託センター IPOD)

「特許生物寄託センター (IPOD) における文書保管について」

府川仁恵 (独立行政法人製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジー本部 生物遺伝資源部門 NBRC)

「NBRC における ISO と OECD の認定に向けた文書管理」

高島昌子 (独立行政法人理化学研究所 バイオリソースセンター 微生物材料開発室 JCM)

「理研 BRC-JCM における文書のマネージメント」

会議では、話題提供者から紹介された文書管理方法に関して、出席者との質疑応答が活発に行われ、貴重な情報交換の場となった。これらの質疑応答については抜粋をそれぞれの話題のページの最後の部分に加えさせていただいた。これらの情報が、各機関の文書の管理に活用されれば幸いである。